

2021.8.2

# Report from AKATSUKA PARK

赤塚公園武蔵野台地崖線植物モニタリング活動

## コロナ感染拡大＋熱中症警戒

ちよいと散歩でも ご注意ください



8/2は8月に入って初めてのモニタリング活動。

毎回スタート時と終了時に地表温度を計っているのですが、温度計のセンサーは地表に近く、しかも地面の輻射熱に影響されないように、左の写真のように日陰の草の葉の上に置いて計ります。温度計の上段に表示された気温（29.7℃）がそれですが、温度計の内部は熱が溜まっているので下段の内蔵センサーの方が高温を示しています。外部センサーを人の身体の位置まで持ち上げる

と、周囲からの輻射熱に影響されて、表示温度はもっと高くなるはずです。8/2は9:00現在で30℃を超えているので、要注意です。

夏場のモニタリングではスマホで環境省の「熱中症予防情報サイト」にアクセスして、こ

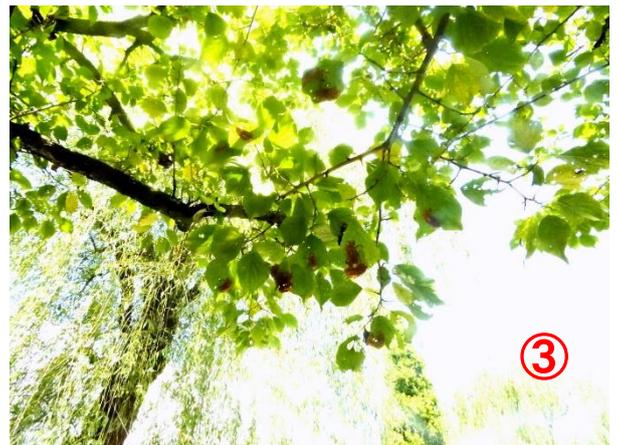
この情報にも注意します（観測地点は「練馬区」を選択）。この日は、9:00～12:00までのモニタリング中は「警戒」レベルでしたが、午後からは「嚴重警戒」レベルになりましたので、炎天下の散歩は控えておいた方が良いでしょう。「危険」レベルだったらモニタリング中止も考えます。



### めまいの兆候

さて、散歩中に空を見上げると写真①のように木の葉が黒々と見えるのが普通です。それが、②のように明るくなって空の色がボケてくると要注意。さらに③のように全体がぼやけてクラクラしてくると、これはめまい。日陰に入って水分補給、腰を下ろして休憩してください。

無理をしないこと、過信は禁物です。





←ワクチン接種は終わっても、  
マスクは着用、密を避けて観察



→  
観察からひと手間伸ばして、簡単な  
手入れ作業も実施

モニタリングは赤塚公園の武蔵野台地崖線の生物多様性を守るための活動ですから、ただそこにある植物を眺めているだけでは不十分。できる範囲で「手入れ活動」も行っています。この2、3年、大門でも城址でも初夏から林縁（林のふちの明るいところ）でヤブミヨウガが大繁殖しているのが気になります。そこで8/2には板橋区郷土資料館裏の遊歩道脇に密生しているヤブミヨウガの抜き取り作業を行いました。次回8/9もやります。



「温暖化で秋が早く来た」結果？

←ノシランが例年よりも2週間以上早く咲きました

写真では紹介できませんが城址西側のキツネノカミソリがまだ見頃でした。東京都の生物多様性整備工事によって林内が明るくなり、群落が広がったため、開花している期間も長くなりました。一方、大門地区ではヤブミヨウガに負けてしまっていて、これは来年の手入れ課題になります。

これは困ります 😞 →

鉢植えのヤツデがこともあろうに「持ち込みはダメ」と書いた看板の隣に置かれていました。ご家庭で大事に育てていた植物を枯らすのは忍びない、赤塚公園ならばなんとかしてくれるだろうとの願いでここに持ってこられたのですが、やっぱり困ります！ 持ち出しも持ち込みも自然の営みを犯す行為なのです。



植物観察・記録活動（モニタリング）は誰でも参加できます。

8、9月の予定は、8/9、8/16、9/6、9/13、9/20

いずれも9：00 ため池公園スタート 雨天は小雨でも中止

都立赤塚公園サービスセンター 03-3938-5715